

みやぎ便り

No. 3

2016年8月31日発行

8月号

日本生協連
組合員活動部

「新“復興応援”手作り商品カタログ Vol.6」を発行しました。新規5団体が仲間入りし、掲載商品の販売のほか、ゆるキャラのグッズ化やイベント記念品などのオーダーメイドも承っています。組合員活動情報の「支援募集情報」にも詳しく紹介していますのでご覧ください。



ふれあい喫茶&こ〜ぷ委員会・初夏のつどい

県北ボランティアセンターのふれあい喫茶に合わせて、震災後初めて気仙沼 A こ〜ぷ委員会による「初夏のこ〜ぷのつどい」も開催しました。つどい資料の「被災地は今」をご覧になりながら、参加された方は「今は何でも清潔志向で洗って食べるけど、震災直後はプールの水を濾過して使ったし、消費期限も関係なく食べた。当時は生きるために、汚いとか古いなんて気にしていられなかった」「この便利な世の中にこんな不便なことがあるのかと思ったが“お互いさま”という勉強になった」と語ってくれました。



みんなと楽しく交流しています

【さわやかお茶会】

コープこうべの皆さんからの募金で購入したたこ焼き器で、たこ焼きなどを楽しみました。ホットケーキミックスを薄く溶いて小豆あんなどを入れて焼くと「え〜っ、そういうの入れて焼いてもいいんだね。やってみよう!」「おいしいね」と喜んでくれた様子が嬉しかったです。8月に災害公営住宅へ引っ越し方もいて、今回のお茶会が最後だと名残惜しそうでした。コープぎふの皆さんから寄せられた「社会福祉法人・あしたの会」の手作りクッキーもみんなで頂きました。



【ちょこボカフェ】

「ちょこボカフェ」は被災者支援としての「ふれあい喫茶」を終了し、地域に住んでいる誰もが集える居場所「ふれあいカフェ」の活動として毎月第2火曜日にみやぎ生協加賀野店で開催します。“ディスクベル”で七夕の曲を奏でると、その涼やかな音に立ち止まって聞いてくれる方も多く、いつもと違う雰囲気を感じて頂きました。ディスクベルを初体験した方は、「久しぶりに音楽の授業を受けたようで若返った」と楽しそうでした。





生協くまもとの皆さんが来訪、視察交流されました

生協くまもとの皆さんが熊本地震の今後の支援活動の参考とするため、7月20日～22日にふれあい喫茶を視察されました。21日は「ふれあい喫茶」を見学するため、亶理町荒浜の西倉木公営住宅（災害公営住宅）を訪れ、住民の方たちと交流しました。その後、名取市美田園第一仮設住宅の自治会長さんを訪ね、仮設住宅の暮らし、住民との接し方など具体的な事例を熱心に聞かれました。「これから取り組むボランティア活動に漠然とした不安があったが、実際に見て、お話しをお聞きする中で気が楽になりました」「住民同士、ボランティアなど横のつながりが大切だと実感しました」など、これからの活動のイメージを持ち帰って頂くことができました。



生協くまもとのみなさん



全国のお菓子が話題作りにつながっています

ふれあい喫茶には、全国の生協から各地の銘菓などの支援をいただいています。JR南小泉社宅仮設住宅では、京都生協の皆さんから頂いた聖護院ハッ橋饅頭を囲んで、お茶をいただきました。京都にいた方が「当時を思い出し、とても懐かしくなった」と話をされました。お菓子をきっかけにその土地に出かけた時を思い出したり、旅行した気分になったり・・・話題づくりになりとても喜ばれています。



復興はいま

【石巻地区】

県内最大級の防災集団移転団地である石巻市新蛇田地区は、復興住宅535戸、自力再建の戸建て730戸、計1265戸の新市街地となる予定です。自治会形成に向けた住民懇談会では、地区内に4つの自治会を作る案が出されたようです。復興公営住宅は既に全戸完成していますが、自力再建用の宅地は2017年度中の引渡し予定で、家の完成までにはまだ時間がかかりそうです。

【閑上地区】

閑上では、初めての戸建復興公営住宅が25戸完成し、6月末には鍵が引き渡されて、入居が始まりました。7月29日には、閑上小中一貫校の起工式も行われ、2018年4月開校予定で工事が始まりました。震災時には防災拠点となる学校の一日も早い完成が待たれます。これまでなかなか復興がすすんでいませんでしたが、少しずつ復興のスピードが増してきている閑上地区です。



発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

小池、住吉